

町長室から

直面する自然災害リスクと新型コロナウイルス感染症対策
個々が意識を高め、力を合わせて、地域全体で乗り越えていきましょう。

はじめに新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方、そして、7月に九州地方及び各地の豪雨災害で犠牲となられた方に、謹んで哀悼の意を表します。さらに、いまだ見通せない新型コロナウイルス感染症の早期の終息と、7月に発生した全国各地の豪雨災害及び同月下旬に山形県内を襲った豪雨災害の一刻も早い復旧を願わずにはおられません。

当町では、7月下旬に最大24時間雨量で70mm、災害までには至りませんでした。が、8月8日から9日にかけては24時間で町内114mm、主寝坂で137mm、グリーンバレー神室周辺で127mmと、大量の降雨があり、土砂でえぐられるような小規模な災害がありました。当町は川上に位置していることや森林及び水田の保水力が機能していることもあり、川下の町村よりは洪水災害などは起きにくく地理的に恵まれていると改めて感じたところです。

しかし、7月上旬の九州地方に降った雨量は、最大で24時間で496mm、72時間で754mmというとても多いものでした。いずれも統計開始以降最大です。この量が当町に降らないとは限りませんがそれらに備える環境整備はすぐには困難です。町民の皆様には「自分の身は自分で守る」という意識を持っていただき、町のハザ

ードマップ等を確認してください。大地震や集中豪雨の際の避難のあり方も定期的にご家庭で話し合っていたくことをぜひお願いします。町では、防災対策や避難所設備は着実に整備を図っていきませんが、完ぺきということは不可能です。今一度、自然災害に対する防災意識を高めてもらうことをお願いします。

また、新型コロナウイルス感染症対策について、これまでの対応策並びに現在進めていることなど、今回まとめてお知らせします。これまで、新庄最上管内での感染者が4月に19名、5月に1名、7月に1名の21名が確認されましたがその後は確認されておられません。ただ、お盆中に首都圏や県外からの帰省客は例年からすると極端に少なかったとはいえ、確実におられたことからすると、懸念材料がないわけではありません。

ここで改めて、家庭や職場で実践すべきこと、個々が行うべきことを確認してください。3密を避けるなどの「新しい生活様式（令和2年7月17日発行の町お知らせ版に、県と町の連名で掲載）」を着実に実践していきましょう。5月から6月にかけて感染者数も下火になりましたが7月中旬から感染者数が再び拡大し最大感染者数を連日更新する状況となっ

ています。まだまだ予断を許さない状況が続いています。すでに発生から長期間となつていますが、これからは長期戦の覚悟で、少しでも感染リスクを取り除く生活スタイルで生活していくことをお願いします。

新型コロナウイルス感染症のリスクを考慮して、例年開催している大きな行事、催し、集会などのほか、金山まつりや地域の祭りごとなども中止され、全般的に自粛ムードとなっております。一方で経済活動も回復傾向にあるもの、お盆中のお参りや会食も縮小傾向となり、生活様式自体を見直す機会となったようにも思います。それは、「身の丈に合った過ごし方」に繋がることでもあると思います。町づくりにおいても、現在の少子高齢化及び人口減少下の状況では、相通ずるのではないかと思えます。

まずは、直面している前述した二つの大きな課題に、町としても、より適切な対応策を講じるため、適宜対策本部を設置・開催して、全力で取り組んでいきます。町民の皆さんには、地域内で声かけや支え合い、お互い様精神を発揮していただき、この難しい局面、力を合わせて、共に乗り越えていきましょう。

新型コロナウイルスと町の取り組み

● 感染症予防対策 ●

対策本部会議での検討
最上管内で感染者が確認された4月2日に「金山町新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、国の緊急事態宣言の発令や拡大などに応じて計8回の会議を開催。国県の方針を踏まえながら、必要な対策について検討し、行政情報放送や一斉メール、町ホームページなどにより町民の皆さんへ周知を行ってきました。

施設の休館
県の休業要請などにより、4月19日から5月10日まで、シエーネスハイム金山や町の公共施設などを休館するとともに、再開後は消毒液の設置や感染防止について表示。また、国の交付金を活用し役場や学校等の水道自動水栓化や、災害時の避難所として発電機や間仕切りを整備しています。

行事等の中止
春季消防演習や金山まつりをはじめ大小様々な行事等が中止になり、8月の成人式は来年度に延期されました。

新型コロナ対策等のこれまでの経過

- 3月31日 ・山形県で初の感染者を確認
- 4月2日 ・最上管内で初の感染者を確認
・金山町新型コロナウイルス感染症対策本部を設置
- 4月16日 ・山形県が飲食業などへの休業要請を決定（4月25日～5月10日）
・国が緊急事態宣言を全国に拡大（5月6日まで）
- 4月17日 ・第2回町対策本部会議で公共施設の休館（一部を除き4月19日～5月10日）を決定
- 4月24日 ・規模を縮小しての小・中学校の入学式
- 4月29日 ・春季消防演習の中止
- 5月4日 ・国が緊急事態宣言を延長（5月30日まで）
- 5月11日 ・全世帯へ1万円の「金山町緊急地域経済応援商品券」配布開始
- 5月12日 ・町議会臨時会で1人10万円の「特別定額給付金」等の予算を可決
- 5月14日 ・特別定額給付金申請開始（8月11日まで）
- 5月18日 ・小・中学校で午前授業開始
- 5月22日 ・特別定額給付金支給開始（8月7日まで計8回）
- 5月25日 ・小・中学校通常登校開始
・国の緊急事態解除宣言
- 6月15日～18日 ・6月町議会定例会で新型コロナウイルス対策予算（プレミアム付き商品券等）を可決
- 7月4日 ・山形県で2カ月ぶりの感染者確認
- 7月28日 ・町議会臨時会で国の第2次補正予算に伴う新型コロナ対策事業予算を可決
- 7月31日 ・金山町産業まつり実行委員会で第41回産業まつりの中止を決定（焼肉券の販売及び焼肉セット引き換えのみ10月11日に実施の予定）
- 8月14日～16日 ・金山まつりの中止
- 8月26日 ・特別定額給付金（町上乗せ分1人7,000円）の支給
- 8月30日 ・プレミアム付き商品券の販売

● 経済対策・生活支援 ●

経済を支えるための商品券の配布
4月16日の国の緊急事態宣言の全国拡大に伴い、地域経済活動の停滞が急激に進んだことから、地元での消費意欲を高め、町内商店からの購買の手助けとなるよう1世帯1万円の「金山町緊急地域経済応援商品券」を配布しました。また、8月30日に30パーセントのプレミアム付き商品券も販売しました。

1人10万円の特別定額給付金
「特別定額給付金」は5月14日から受付を行い、8月7日までに8回にわたり、申請のあった全世帯に給付しました。また、8月26日には町独自に1人7千円を追加の上乗せ分として給付しています。

その他様々な対策
国では、企業が事業を継続するための「経営持続化給付金」や雇用を維持する事業所のための「雇用調整助成金」、子育て世帯への「臨時特別給付金」を支給し、県では農業支援を含めた各種支援を行っています。町ではこれらへの上乗せや対象を拡大しての支給のほか、町独自の支援を実施。更には、収入が減少した世帯への町税や年金の徴収猶予なども実施しています。

● 今後も感染予防を徹底 ●

感染の仕方は、飛沫感染と接触感染があります。飛沫感染は、感染者がくしゃみや等と一緒に放出したウイルスを他の人が口や鼻から吸い込で感染します。接触感染は、感染者が咳等を手で押さえた後、その手で周りの物に触れ、他の方がそこに触り、自分の口や鼻を触ることで粘膜から感染します。

- ① **まずは手洗い、咳エチケットを徹底しましょう。**
外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などごまめに手を洗います。
- ② **「3密」を避けて下さい。**3つの条件が重なると集団感染が生じやすくなります。
・密閉空間（換気の悪い密閉空間）
・密集場所（多くの人が密集している）
・密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われている）
- ③ **体調不良の時は外出を控えて相談しましょう。**
受診相談センター ☎01220188100006（毎日24時間対応）
- ④ **接触確認アプリをインストールしましょう。**
詳しくは、厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCCOA）の詳細をご覧ください。

町へのところ温まるご寄附、ありがとうございました

寄附内容・数量	寄附者（敬称略）
手作り布製マスク【460セット】	お話しサークルきつねのボタン
布製マスク【550枚】	有限会社イーユー
不織布マスク【6,000枚】	株式会社有屋建設
子供用布製マスク【120枚】	
寄附金【20万円】	新庄最上清掃事業組合
寄附金【10万円】	最上地区廃棄物委託組合
次亜塩素酸水溶液【20ℓ×5本】	株式会社小野商会
布製マスク【50枚】	株式会社庄内互助センター・アークユ
不織布マスク【100枚】	マリエTAMAHIME・新庄玉泉院
寄附金【49万5千円】	沼田建設株式会社
冷感仕様マスク（職員用）【50枚】	新光印刷株式会社



有屋建設さんからはマスクの入手が困難だった4月下旬にたくさんのご寄附をいただきました。